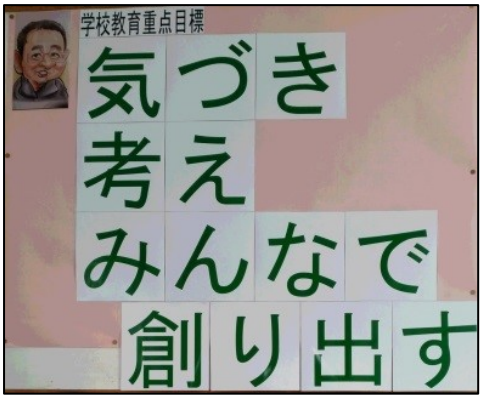
# 久屋小だより

～気づき　考え　みんなで創り出す～　令和３年　５月号

## 「気づき　考え　みんなで創り出す」②




ある日の昼休み，私が校庭にいると，高学年の子どもたちが走り寄ってきて，「校長先生，ブランコに乗りたいけど，低学年の子たちが使っていて乗られません。」と言ってきました。私は，「どうしたら，みんなが乗られるのか**考え**てみるといいよ。それが，**みんなでくらしを創る**ことだよ。」と返しました。

すると，高学年の子どもたちは相談を始めました。そして，ブランコに乗っている低学年の子どもたちに，「〇〇回したら交代しようね。」と遊び方を提案しました。その後，みんなで順番にブランコに乗って遊ぶことができました。昼休みが終わると，ある６年生が「ブランコの乗り方を紙に書いて，濡れてもいいようにカバーをつけてブランコに貼っておくといいかな？」と言っていました。

この時，私が声をかけることもできたかもしれません。しかし，高学年の子どもたちが考え，行動したことに価値があります。この経験がみんなで暮らしを創る学びです。何気ない日常に学びの場面はあります。こうした日常の中での経験の積み上げが，子ども主体のくらしの文化を築いていく上で大切になると思います。

１年生に「学校をたくさん知ってほしい。」という思いから，２年生が学校を案内する活動をしました。この日に向けて２年生は，知ってほしい学校のことに**「気づき」**，どうしたら知ってもらえるかを**「考え」**，学校案内を**「みんなで創って」**いきました。常に２年生は，１年生のことを考えて学校案内をしていました。

他者を意識することが，相手の心に響く素敵な活動になることを２年生は学ぶことができたと思います。１年生も，学校のことがよく分かったと思います。

# 笑顔いっぱい　１年生を迎える会

４月２８日（水）１年生を迎える会をしました。

１年生は「自分たちのことを考えて集会をしてくれたこと」，２年生から４年生は「全校みんなで楽しい時間を過ごすことができたこと」，５・６年生は「１年生が楽しく集会に参加してくれたこと」で，笑顔いっぱいの素敵な集会活動になりました。

１年生も５月を迎え，少しずつ学校生活に慣れてきました。学校がどんなところなのか分かってきたことが安心感につながっていると思います。

５・６年生はいつも１年生の学校生活をあらゆる場面で支えてくれています。頼りになる５・６年生です。この迎える会も限られた短い時間で企画し，実施しました。１年生の思いをもとに「気づき　考え　みんなで創り出す」ことができた集会でした。

# 連合運動会終わる

５月１５日土曜日に，連合運動会が行われました。感染症対策として，５・６年生のみの参加でしたが，子どもたちは自分の力を精一杯出し切りました。

子どもたちはみんな，「いい走りができました。」，「やりきりました。」と言っていました。とてもうれしい気持ちになりました。テントに帰ってきた友達を拍手でねぎらう姿も素敵でした。

このように，子どもたちが自分の取り組み方に満足できたのは，これまでの練習が有意義であったからだと思います。自分たちで声をかけ合い，みんなでよりよく練習を創っていました。まさに，「気づき，考え，みんなで創り出す姿」でした。運動会に向けたこの取組そのものが学びです。練習を通して，体と心が磨かれ，集団の力を高められたことをうれしく思います。

そして，***３・４年生ありがとう***

大会前には壮行式を３・４年生が中心となって行いました。放課後には５・６年生の練習を見ていた３・４年生です。５・６年生のがんばりをよく分かっている３・４年生です。５・６年生のがんばりへの「気づき」から，元気づけられる方法を「考え」，みんなで素敵な壮行式を「創り出す」ことができました。１・２年生教室で教えている姿も立派でした。

**訂正**

４月号「着任者の紹介」の中で，上野山　亮のふりがなを「うえの<u>はら</u>」と記載しておりました。正しくは「うえの<u>やま</u>」です。訂正させていただきます。